

記者配布資料

平成 28 年(2016 年) 9 月 5 日

所属名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連絡先
山口県立大学	学長 ながさか ゆうじ 長坂 祐二	地域共生センター 所長 か と だ けい こ 加登田 恵子	地域共生センター はらだ え 原田 いつ恵	☎ 083-928-3495
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、 首都圏			

1 件名

平成 28 年度 山口県立大学後期公開授業

「アフリカ社会・文化論」「心理学 b」「地域学特論」「比較政治論」の開催について

2 内容

山口県立大学では、本学の授業科目の一部を一般公開しています。

本学教員をはじめ、各界の第一線で活躍する講師陣による講義を学生と一緒に受講してみませんか。

授業名	概要	①開催期間 ②会場 ③受講料
アフリカ社会・文化論	最新の現地からの報告を交え、日本人の偏見やおごりを教えてくれるアフリカのパワフルな元気と、その人たちが現在置かれている苦境について学びます。 【全 15 回】	①10月4日(火)～ 平成 29 年 1 月 31 日(火) 14:30～16:00 ②山口県立大学 3 号館 C12 教室 ③各回 500 円 (10 回以上 5,000 円)
心理学 b	心理学が人間の心や行動について解明してきた理論や知見から重要と考えられるテーマを採り上げ、文献や資料を紹介しながら講義します。 【全 15 回】	①10月6日(木)～ 平成 29 年 2 月 2 日(木) 10:20～11:50 ②山口県立大学本館 A31 教室 ③各回 500 円 (10 回以上 5,000 円)
地域学特論	山口県出身の民俗学者、宮本常一の視点で見る山口・日本・世界。「他人事から我が事」への道を「宮本学× 自分学」という形で学びます。大学院の授業です。 【全 15 回】	①10月6日(木) ～平成 29 年 2 月 2 日(木) 14:30～16:00 ②山口県立大学本館 A32 教室 ③各回 500 円 (10 回以上 5,000 円)

比較政治論	主要国の政治制度と日本の相違点や、今日の姿に至るまでの歴史的経緯を学び、国際的な教養や行動力の基礎を涵養することを目標とします。 <p style="text-align: right;">【全 15 回】</p>	①10月7日(金)～ 平成 29 年 2 月 3 日(金) 12:50～14:20 ②山口県立大学 3 号館 C33 教室 ③各回 500 円 (10 回以上 5,000 円)
-------	--	---

詳しい講義内容・日程については、直接お問合せいただくか別添チラシ（本学ホームページにも掲載しています）をご確認ください。なお、教室は変更になる場合があります。

3 申込方法

- (1) 電話、FAX またはハガキで、住所、氏名（ふりがな）、電話番号・FAX 番号を申込先〈山口県立大学地域共生センター共生教育部門〉までお知らせください。
- (2) 部分受講も可能です。また、開催期間中は、随時受付いたします。

4 申し込み・問い合わせ先

〒753-8502 山口市桜島 3 丁目 2-1
 山口県立大学地域共生センター 共生教育部門
 TEL 083-928-3495
 FAX 083-928-3021
 ホームページ <http://www.ypu.jp/>



アフリカ社会・文化論

東アジアから見ればはるかに遠い所のように思えるアフリカが、実は非常に親しいものに思えてくるという教員の経験と、最新の現地からの報告を交えて講義します。アフリカのパワフルな元気と、そこに現在置かれている人たちの苦境について学び、アフリカとそこに暮らす人々に対して、私たちにできることは何なのかを自らに問います。

日 時: 10月4日(火) ~ 平成29年1月31日(火)

各回 14:30~16:00 【全15回】

会 場: 山口県立大学 3号館C12教室

講 師: 山口県立大学国際文化学部

教授 安溪 遊地

受講料: 1回 500円 (10回以上 5,000円)



部分受講可

- 13回以上受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。
- 詳しい内容は裏面をご覧ください。

■会場案内図



お申込み・お問合せ

◆TEL・FAX またはハガキでお申込みください。

〒753-8502 山口市桜島 3-2-1

山口県立大学地域共生センター共生教育部門 宛

TEL 083-928-3495

FAX 083-928-3021

■講義内容

回	日時	テーマ	内容
1	10/4 (火)	異国のカップルを半年白めて養子にくださった —コンゴの森の社会のしなやかさと文化の豊かさ	1978年コンゴ民主共和国(ザイール)で、私はアフリカの熱帯雨林のなかにある村で暮らした。滞在一ヶ月で村長の養子になって、森の暮らしの豊かさを知った。
2	10/11 (火)	大都市のスラムに生きる子どもたち —ケニアのマゴススクールから早川千晶さんを迎えて	ケニアの首都ナイロビのスラムに学校を作る住民たちとともに活動するパワフルな日本人女性による現地報告
3	10/18 (火)	お金がなくても困らない経済 —物々交換の市場が結ぶ川の民と森の民	貨幣経済が浸透した現代社会において、コンゴ川の漁民と焼畑農耕民が毎週出会い物々交換をする定期市は、謎の存在だった。その秘密を解き明かす。
4	10/25 (火)	西アフリカの庶民の暮らし —ガボン共和国の街と森で	西アフリカのガボン共和国をたずねての、はじめての村での予備調査風景。フィールドワークのようすを紹介。
5	11/1 (火)	どうしてこんなに多彩な食べ物や地酒があるの？ —庶民の暮らしの知恵の世界を探る	地酒づくりを追う東アフリカとガボンの旅から。東アジアにしかないとされていたカビ(麹など)を用いた地酒を世界ではじめて学会で紹介した安溪貴子さんの研究を紹介。
6	11/8 (火)	「歴史のない暗黒大陸」というウソは誰がつくったの？ —西欧から奴隷制度の影まで輸入した日本人	古代からの文明の興亡。エジプト文明には黒人王朝があった。ジンバブ웨の古代遺跡など、高度の文明を支えた人々の歩みをたどる。
7	11/15 (火)	なぜアフリカの国境はまっすぐなの？ —列強の植民地分割とその後遺症	列強による植民地化と独立。ケニアとコンゴ民主を例に。
8	11/22 (火)	黄色い皮を被ったバナナと呼ばれた日本人 —アパルトヘイトとの闘いと「名誉白人」	アパルトヘイトのもとでの人々の暮らしと闘い。暴力に対して非暴力はどこまで有効か。さまざまな映画作品を紹介しつつ、差別が法律となっていた時代の生活を知る。
9	11/29 (火)	「大虐殺をテレビで見ても『怖いね』といって 食事を続けるんだ」 —1994年ルワンダの悲劇と和解・復興の課題	民族対立と内戦の行方。1994年のルワンダの悲劇はどうして起こり、コンゴ民主共和国の紛争につながり、さらに第1次アフリカ大戦といわれる戦争になったのか。
10	12/6 (火)	日本人は外国語としてまずスワヒリ語を学ぶべきです —アフリカの多彩なことばの世界から	Jambo, Jambo Bwana というライオンキングの歌など、スワヒリ語で歌をうたってみよう。ピジンとクレオールという現象を知る。
11	12/13 (火)	話し手5万人の Songola 語の神話と取り組む —辞書も文法書もない私の研究最前線から	スワヒリ語の仲間であるバントゥー諸語との格闘。話者5万人程度のソゴラ語の辞書づくりと、昔話・神話の研究。
12	12/20 (火)	「あなたこそ日本の未来」 —環境保護にかかわるコンゴのカヘーブアさんからのメッセージ	東アフリカの聖なる森を守るために、若者たちと長老たちが合意した秘密の計画とは。ケニア東海岸でのフィールドワーク結果の紹介。
13	1/17 (火)	あなたの携帯にはコンゴ人の血がこびりついている —希少金属 tantalum 利権の犠牲となるコンゴ内戦の500万人の死者	ルワンダ内戦のあと、いまでも続くコンゴの内戦状態。資源が多いことが、かえってそこに住む人々の不幸を生み出す「資源の呪い」をどう越えればいいのか。
14	1/24 (火)	岩手県遠野のカマドと草履で暮らしを変えた —西ケニアのエンガロ村の人々と岸田ママの起こした奇跡	援助とはなにか。ケニアに住んで30年、岸田ママとよばれる女性の智慧にみちた取り組みが日本の援助のあり方をそのものをも変えていく。
15	1/31 (火)	あなたの暮らしが今問われている	質疑応答とレポートの書き方の指導。

■受講申込書

平成28年度後期公開授業「アフリカ社会・文化論」を受講します。

お名前(ふりがな)	
ご住所	〒
電話(日中連絡のとれるもの) FAX	

心理学

心理学が人間の心や行動について解明してきた理論や知見から重要と考えられるテーマを採り上げ、文献や資料を紹介しながら講義します。

日 時 : 10月6日(木)~平成29年2月2日(木)

各回 10:20~11:50【全15回】

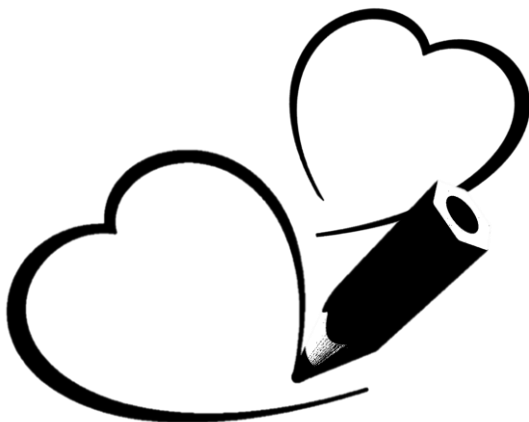
会 場 : 山口県立大学本館 A31 教室

講 師 : 看護学部 教授 甲原定房

受講料 : 1回 500円 (10回以上 5,000円) 部分受講可



- 13回以上を受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。
- 詳しい日時と内容は裏面をご覧ください。



■会場案内図



お申込み・お問合せ

◆TEL・FAX またはハガキでお申込みください。

〒753-8502 山口市桜島 3-2-1

山口県立大学地域共生センター共生教育部門 宛

TEL 083-928-3495

FAX 083-928-3021

■ 講義内容

回	日時	テーマ	内容
1	10/6 (木)	心理学のイメージ	一般の人々が心理学に持つイメージと実際、研究されている心理学とのイメージ的なギャップはかなり大きい。心理学が理解しようとしている対象とは何かを概説する。
2	10/13 (木)	心理学的環境と行動	日々、生活している環境も隣にいる他者とはまったく違った環境である。物理的環境と心理学的環境の違いを説明し、その中で個人の行動を概観する。
3	10/20 (木)	社会的比較	他者を羨んだり、蔑むところはどこから来るのか？ なぜ他者と自分を比べるのか？ なぜ、似た人が集まるのか
4	10/27 (木)	認知的なバランス	私たちは世界を調和の取れたものと見なす傾向があるのではないか？好きな人が好きなものは好きになるのか？ 窓口業務には美形が多い？ 説得上手な人の戦略
5	11/10 (木)	友人形成と対人魅力1	誰と誰が仲良くなるのか？ 物理的要因と心理・社会的要因(1) 遠距離は続かない？ 単純接触効果
6	11/17 (木)	友人形成と対人魅力2	物理的要因と心理・社会的要因(2):似ていることが決め手？ 関係の深化:関係深化のフィルターモデル 自己開示と魅力 危ない橋を渡ると恋愛につながる？
7	11/24 (木)	友人形成と対人魅力3	スタンバーグの3要素説:愛情には8種類ある。関係の崩壊。カップルに見られる一定の傾向:背の高い女性と背の低い男性は不利？
8	12/1 (木)	援助行動1	都会の人間は冷たいか？ 困っている人に対してある時は知らんぷりするのに、ある時は命がけで助けるのはなぜか？
9	12/8 (木)	援助行動2	責任の分散仮説 傍観者の効果とは？ 自分が窮地に陥った時の対処とは？
10	12/15 (木)	攻撃行動1	攻撃行動とは何か なぜ人は他者を攻撃するのか 攻撃の本能説、情動発散説、社会的機能説
11	12/22 (木)	攻撃行動2	どんなときに攻撃しやすいのか？ 攻撃的な人とはどんな人なのか？ テレビゲームは青少年を非行化させる？
12	1/12 (木)	説得とコミュニケーション	説得とは。効果的な説得に関わる要因とは何か？ なぜ、イエスと言ってしまうのか？ Noと言うためには？
13	1/19 (木)	ワークショップ 1	ワークショップ形式で授業を行う。 題材については当日公開する。
14	1/26 (木)	集団の心理学	個人でいるとき、集団でいる時、行動は変化する。緊張すると上手になる人、ダメになる人がいるのか？ 他者からの影響とは。
15	2/2 (木)	ワークショップ 2	ワークショップ形式で授業を行う。 題材は当日公開する。

■ 受講申込書

平成 28 年度後期公開授業「心理学 b」を受講します。

お名前 (ふりがな)	
ご住所	〒
電話(日中連絡のとれるもの) FAX	

地域学特論

宮本常一の視点からみる山口と日本そして世界。「他人事から我が事」への道を、「宮本学×自分学」という形で学びます。山口県で生まれ育ち、民俗学者と地域づくりの達人の二つの顔をもつ宮本常一は、日本中を歩き、その足跡は地球 4 周分に達しました。その足跡の顕彰から検証へ、そしていかに継承するかを模索します。

日時: 10 月 6 日(木)～平成 29 年 2 月 2 日(木)

各回 14:30～16:00【全 15 回】

会場: 山口県立大学 本館 A32 教室

講師: 山口県立大学大学院 国際文化学研究科
教授 安溪 遊地

受講料: 1 回 500 円(10 回以上 5,000 円) 部分受講可

- 13 回以上受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。
- 詳しい日時と内容は裏面をご覧ください。

■会場案内図



お申込み・お問合せ

◆TEL・FAX またはハガキでお申込みください。

〒753-8502 山口市桜島 3-2-1

山口県立大学地域共生センター共生教育部門 宛

TEL 083-928-3495

FAX 083-928-3021

■ 講義内容

回	日時	テーマ	内容
1	10/6 (木)	宮本学(1) 15歳の旅立ち —父・善十郎の十箇条	島を出る息子に与えた父の十箇条は、その後のフィールドワークの手引き。そして人生の極意だった。
2	10/13 (木)	自分学(1) 地域学の方法 —東大寺を再建した重原上人の偉業と民衆の記憶力	伊谷純一郎先生(京大アフリカ学のリーダー)の指導で安溪が西表島で始めたフィールドワークの基本は「越境とサバイバル」だった。
3	10/20 (木)	宮本学(2) 巨人との出会い —生涯の師・渋沢敬三と民俗学の父・柳田国男	病気になる、島にもどった宮本常一青年は、島の伝承を書きとめた物を、日本民俗学の柳田国男に送り、励まされ、やがて生涯の氏となる渋沢敬三と出会い、日本中を歩くことになる。
4	10/27 (木)	自分学(2) フィールドで叱られる —宇部小野田で炭坑と観光を考える	渋沢敬三がみた西表島の炭坑と、宇部小野田の炭坑や観光ルートになっている三池などを対比しながら、もっとも弱い立場の人たちに共感するという基本的な姿勢を共有したい。
5	11/10 (木)	宮本学(3) 堺市の空襲 —20年間の学問の蓄積を失う	1945年7月9日未明、大阪堺の空襲。宮本常一は、燃える家とともに採集ノート100冊・原稿1万2千枚・フィルム・書籍などを失う。あなたなら立ち直れるか。
6	11/17 (木)	自分学(3) 研究者から生活者・実践者への道 —山口市仁保・流域の環境を守る	1988年、2年間のフランス生活から山口にもどった安溪は、シンポジウムで西表島での無農薬米産直を呼びかける。しかし米の商売の道はきびしい真剣勝負の連続だった。
7	11/24 (木)	宮本学(4) 九学会連合のフィールドワーク —学問の壁を越える	「周防大島の百姓」にもどった宮本常一に、師の渋沢敬三からの電報が届く。自宅の田植えの日に対馬での合同調査に出発。そこで多彩な研究者の研究方法を知った。
8	12/1 (木)	自分学(4) 理科系の学会をつなぐ —上関の奇跡の海に魅せられて	周防大島に原子力発電所計画が持ち込まれようとしたとき、宮本常一は「馬鹿なことを考えるな！」と一喝した。上関原子力発電所は生物多様性の宝庫だった。
9	12/8 (木)	宮本学(5) 離島振興に燃えて —政治を考える	常一は、1951年の対馬調査で、離島の厳しい条件をつぶさに見た。恵まれない条件にあるところが、豊かにくらせる場所になることを夢見て、離島振興法の制定をもとめて活動を始める。
10	12/15 (木)	自分学(5) ひとつごとからわが事へ —幕末維新長州僧の研究	原発のない県を選んで住んだつもりが、足もとに原発建設計画があった。学会で「山口の人でもないのに」と言われたルーツを探すと、幕末長州の真宗僧が浮かび上がってきた。
11	12/22 (木)	宮本学(6) 宮本常一はじめての海外 —アフリカ農民とであう	恩師・渋沢敬三への遠慮もあって、海外に足を運ぶことがなかった宮本常一に弟子達がプレゼントしたのが、東アフリカの旅だった。
12	1/12 (木)	自分学(6) アフリカで物々交換を研究する —やまぐちの木灰を沖縄ソバと交換する	赤道アフリカの物々交換市場との出会いが、安溪遊地の博士論文となった。その目で日本を見直せば、米が貨幣であった時代やグローバル化の中の地域通貨の課題なども見えてくる。
13	1/19 (木)	宮本学(7) あるく・みる・きく・つくる —宮本常一を受け継ぐために	空襲ですべてを失ったあと、宮本常一の撮影した写真は10万枚に上った。残された本は何百冊になるのか見当が付かないという。生涯をかけて彼が願ったものは、いったい何だったのだろうか。
14	1/26 (木)	自分学(7) 文化力と自然力 —やまぐち人が東アジアで輝く	やまぐちを東アジア全体の中に位置づけながら、そのアイデンティティを再定義することが今必要ではないか。そのために現在おこなっている研究や史料収集の一端を紹介する。
15	2/2 (木)	受講者の自分学/わたしと地域 —大学院生による発表	あなたにとっての「地域学と自分学」を5分程度でプレゼンしてください。

■ 受講申込書

平成28年度後期公開授業「地域学特論」を受講します。

お名前 (ふりがな)	
ご住所	〒
電話(日中連絡のとれるもの) FAX	

比較政治論

諸外国の政治体制・政治運営の実態を学ぶ一環として、主要国の政治制度や、そこに至る歴史や政治制度を概説し、日本の政治制度との相違を学びます。



日 時: 10月7日(金)～平成29年2月3日(金)

各回 12:50～14:20 【全 15 回】

会 場: 山口県立大学 3号館 C33 教室

講 師: 国際文化学部 教授 井竿 富雄

受講料: 1回 500円(10回以上 5,000円) 部分受講可

■会場案内図



- 13回以上受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。
- 詳しい日時と内容は裏面をご覧ください。



お申込み・お問合せ

◆TEL・FAX またはハガキでお申込みください。

〒753-8502 山口市桜島 3-2-1

山口県立大学地域共生センター共生教育部門 宛

TEL 083-928-3495

FAX 083-928-3021

■ 講義内容

回	日時	テーマ	内容
1	10/7 (金)	はじめに	比較政治論についての概略を説明する。
2	10/14 (金)	韓国と北朝鮮の政治(1)	朝鮮半島の歴史的背景をまず説明する。分断国家としての南北の現状の前提を知る。
3	10/21 (金)	韓国と北朝鮮の政治(2)	南北朝鮮の政治制度について講義する。北朝鮮の場合は不明な点が多いが、分かる範囲で講義する。
4	10/28 (金)	中国と台湾の政治(1)	中国と台湾の現状を知り、ここに至る過程を学ぶ。
5	11/4 (金)	中国と台湾の政治(2)	中国と台湾の政治体制の相違を説明する。台湾の民主化についても触れる。
6	11/11 (金)	イギリスの政治	日本の議院内閣制のお手本と言われるが、実は随分異なる点のあるイギリスの政治制度について触れていく
7	11/18 (金)	フランスの政治	フランスの政治制度、特に現行の第五共和制を中心に説明する。
8	11/25 (金)	ドイツの政治	ヨーロッパでは比較的若い国、そして連邦国家としてのドイツについて説明する。
9	12/2 (金)	EU の政治(1)	統合の危機に苦しむ欧州連合(EU)の政治について学ぶ。
10	12/9 (金)	EU の政治(2)	EU の機構とその動きについて考えてみる。
11	12/16 (金)	アメリカ・カナダの政治(1)	アメリカ(USA)とカナダの政治の前提について理解する。
12	1/6 (金)	アメリカ・カナダの政治(2)	アメリカ(USA)の連邦制について考える。アメリカの連邦制について、より幅広く理解できるようにしたい。カナダの連邦制との相違にも触れていく。
13	1/20 (金)	アメリカ・カナダの政治(3)	ブリティッシュ・コモンウェルスという独特の制度の下に特徴付けられたカナダの政治について理解を深める。
14	1/27 (金)	アメリカ・カナダの政治(4)	カナダの連邦制について学び、USA の連邦制、以前学んだドイツの連邦制などと比較する。
15	2/3 (金)	各国を見て	各国政治体制を比較することによって、何が見えるか。このことについて最後は考えていく。

■ 受講申込書

平成 28 年度後期公開授業「比較政治論」を受講します。

お名前 (ふりがな)	
ご住所	〒
電話 (日中連絡のとれるもの) FAX	